

1. 評価結果概要表

作成日 平成22年1月21日

【評価実施概要】

事業所番号	2771101355		
法人名	医療法人利田会		
事業所名	グループホームやすらぎ		
所在地	岸和田市尾生町2980番地の1 (電話)072-445-9922		
評価機関名	特定非営利活動法人エイジコンサーン・ジャパン		
所在地	大阪市住之江区南港北2-1-10 ATCビル 1TM棟 9階		
訪問調査日	2009年 12月 14日	評価確定日	2010年 1月 26日

【情報提供票より】(平成21年10月5日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 15 年 5 月 1 日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	9 人	常勤 9人, 非常勤 人, 常勤換算 9人	

(2) 建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート 造り	
	2 階建ての	2 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	洋室75,000/和室85,000円	その他の経費(月額)	12,000 円
敷金	有(円)	無	
保証金の有無(入居一時金含む)	有(200,000 円)	有りの場合償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり	1,400 円	

(4) 利用者の概要(10月5日現在)

利用者人数	8 名	男性 名	女性 8 名
要介護1	2名	要介護2	2名
要介護3	3名	要介護4	0名
要介護5	1名	要支援2	0名
年齢	平均 85.6 歳	最低 78 歳	最高 91 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	(医法)利田会 久米田病院、(医法)亀井会 亀井病院、 (医法)おち穂会 下井戸歯科医院
---------	---

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

JR阪和線久米田駅、下松駅から車で旧来の住宅地を通り7分ほどで岸和田市尾生町のグループホーム「やすらぎ」に着く。年々開発が進み間もなく幹線道路が開通すると、駅からの時間も短縮されるとの話である。住宅も増えつつあり、益々高齢者のグループホームの存在が求められる。管理者は開所時から変わらず意欲的なホームの運営を行っている。入居者の表情は明るく、毎日の散歩を日課として寒い時も、余程の寒さで無い限り近くの公園までの散歩を欠かさない。そのことは入居者の足、腰の衰えを予防し、外気浴で肺の機能も鍛えられるのか、風邪を引く入居者も少ない。ホームは中庭もあり明るく快適である。

【重点項目への取組状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回、家族向けお便りを提案したが、殆どの家族が毎週ホームを訪れ必要は感じてられない。月に1回入居者ひとり一人の様子を記録することの積み重ねが、ホーム生活の記録になる。今一度考えて見られてはと考える。他の改善状況はそれなりに取り組みが進んでいる。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>管理者は後進の育成と、職員の評価に対する意味の理解を進めるため、作成に当たっては、全職員が作成に関与できるように進めた、とのことである。外部評価を義務的に捉えることなく、自らの日常業務を見つめなおすことで更なる介護の質の向上に資する外部評価と捉えていただいている。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <p>出席者は、市高齢介護課、介護相談員、家族代表はいつも出席している。地域の代表は毎回とはいかないが、出席してもらえる。新入居者の入居後の様子を家族が報告、市職員、介護相談員がホームの印象を話す。管理者から、ホームの直近の行事について知らせたり、地域代表者が、地域の行事について参加の呼びかけなどが話されていて、それなりに地域との意見の交換会となっている。</p>
	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)</p> <p>家族は良く来訪し、苦情と言うより要望、意見などはよく出されている。家族会ではアンケートも実施して、どんなことでも要望に添うように対応している。玄関苦情箱の設置はしているが、岸和田市と国民健康保険連合会の苦情窓口の電話番号を明示をしていただきたい。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>運営規程推進会議に地域代表も参加してくれるようになり、地域との交流は進んでいる。前回から引き続き、近隣の中学校の生徒の実習先としても受け入れている。管理者が、地域に還元できる専門知識を活かした高齢者認知症の勉強会などを開き、高齢化社会に地域密着施設としてこれからの活動を期待したい。</p>

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	理念はリビングのわかりやすい場所に提示している。ホームの理念を分かり易く掲示することで、ホームの姿勢を入居者は勿論、来訪者、職員にも伝えている。		「ともに生きる」を理念に掲げ、持てる力を維持し、明るく楽しい生活のためにと管理者を先頭に職員のいきは揃っている。入居者も表情は明るい。
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	職員がホームの理念を共有し、入居者の介護に携わることを管理者は望み、そのように指導している。		高齢者認知症の入居者が少しでも持てる力、気力を持続できるように、職員は理念を認識して取り組んでいることが窺われた。
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	近隣にまだ住宅が建ち揃っていないため日常的な交流は出来ていないが、老人会には参加している。こちらからの働きかけに務めている。		管理者は地域の理解を得るために、今後、見学会などを働きかけたいとのことである。認知症の専門知識を、地域の方に広めるべく勉強会をホームで開くなど、これからに期待する。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	評価を活かして改善に向けて努力している。カンファレンスの時に外部評価の結果を取り上げ改善に向け取り組むときもある。		外の人意見を毎日の業務に活かしたいと意欲的に取り組んでいる。後継者の育成など、計画的に取り組んでいる。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議の開催が、回を重ねることで家族の意見も活発に出てくるようになってきている。</p>		<p>運営規程推進会議で出た意見などを、日常業務に活かすなど、会議をまえむきに捉えている。</p>
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者や運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>運営推進会議により市町村との交流が出来るようになりホームの内容の理解を得て、アドバイスももらえるようになってきた、従来より相談しやすくなって来ている。</p>		<p>市町村との連携を得ることはホームの運営には必要と考えられる。今後とも、行政のアドバイスを得つつ、よりよいホームづくりを目指されたい。</p>
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている</p>	<p>入居者の預かり金は事務所金庫で保管し、複数の職員が、管理チェックを行い、家族には利用状況の連絡を行っている。家族会で、おこづかい帳の明示している。職員人事異動も説明している。</p>		<p>個人の預かり金控えは、綿密に記録され管理している。入居者の一か月の生活の様子などを記録をし、家族にも報告をすることを蓄積することで、貴重な介護記録となると考える。</p>
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>家族の意見は真摯に受け止め活かすような体制をとっている。家族会ではアンケートを取り、できることは即対応している。</p>		<p>アンケートなどから、管理者や職員が家族の意見を取り入れようという姿勢は、充分家族に伝わっていると考えられる。</p>
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>今年、3名の退職者があり入居者は一時混乱したが、職員の結束でダメージは少なく済んだ。</p>		<p>4月5月7月と勤務の長かった職員の退職があり混乱した、理由はそれぞれであり、致し方ない。その後の対応がダメージを少なく出来たことは評価できる。</p>

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>管理者は職員が資格取得のため様々な協力をしている。今まで、ケアマネ、社会福祉士の取得をした職員もいる。来年1月介護福祉士受験、2名予定のため、実践者研修の受講などをした。</p>		<p>職員の質を向上させることは入居者に取り良いだけでなく。ホームにも、更に職員個人にとっても大変メリットがある。管理者の協力は心強いことである。</p>
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>他のグループホームの見学や他施設との勉強会、交流会を実施している。他施設とのリーダー交流会を定期的に行っている、グループホーム協会にも入会した。スタッフも要望があれば見学会に参加も考えている。</p>		<p>他の事業者との交流は視野も広がり、得る事も多いと考える、是非、職員の参加を実行されることを願う。</p>
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>入居開始に当たり、体験をしてもらったり、利用していたデイサービスへの送迎等も実施して馴染むまでの対応をしている。これからも体験利用は進めていく予定である。</p>		<p>入居に当たり、きめ細かい準備期間を設けられることを、これからも継続してほしい。</p>
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>グループホーム入居者方から学ぶことは大変多く、敬意を表して接している。そのことをホームの理念だと理解し、日々取組まれている。</p>		<p>人生の最終章ともいえるグループホームでの生活を、満足して生活してもらうように、これからも支援していただきたい。</p>

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1.一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>家族からの情報提供や入居者との対話の中からその人の思いを聞き取るように務めている。また、ケアプラン作成にも活かしている。</p>		<p>開所時からの入居者もいて、職員とは心のつながりも出来ていると思われる。これからもひき続き思いやりの把握に努めていただきたい。</p>
2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>必要に応じて介護計画の見直しをしている。計画作成者が管理者と兼務している為日々本人、家族と接しており、暮らしに密着した計画を作成している。</p>		<p>介護計画見直し期間は特に決めていない。介護計画作成見直し期間を6ヵ月として、職員の研修を兼ねて作成してみると管理者の話であった。</p>
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>大きな変化時には介護計画を修正している。モニタリングを記入して、スタッフよりの意見を取り入れようとしている。</p>		<p>入居者に変化のあったときは介護計画は見直されている。今後とも、本人の要望・家族の意見をきめ細かく介護計画に反映させることを継続して欲しい。</p>
3.多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>デイケアには地域の方や顔見知りの方も利用しているので、入居者の要望があれば交流の機会と利用している。散歩時にはあいさつをしたり対話したり一緒に行動する事もある。</p>		<p>1階に降りてデイケアを利用することは、日常生活に変化もでき、入居者に取りは良いと考える。運営体の病院の医師も管理者に協力して入居者の心身の診察、相談にのってくれることは心強い。</p>

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	併設病院の医師が主治医となっており休日、緊急時にも対応は直ぐしてもらえる。		現在併設病院の医師がかかりつけ医として担当している。どんなときでも対応してくれ、ホームとしては安心である。
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	入居時に家族に終末に関する指針を説明し、入居者本人、家族と終末期についての話し合いは、早い段階で行っている。延命の為の医療行為を望まれる家族が増えている。		開所以来、8人ほどホームで看取った。ホームで看取りをすることは入居者もホームで最後まで生活できることを実感し、家族も安心できることになる。21年4月の介護保険法の改正により、看取り加算が新設されたことに伴い、「重度化した場合における対応の指針」も策定されている。
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	個人情報である記録等は保管場所を決め、施錠できるようになっている。居室への訪問は必ず声かけを行い、言葉使いについてはスタッフ間で討議し注意しあっている。		急な利用者対応のため記録を中断するときの個人情報の対応にも注意していくことを忘れずに。
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	朝のコーヒーの時間に日課を決めている。外出先も各個人の希望にそった場所へ行けるよう支援している。入眠、起床時間は決めていない。本人のペースで行っている。		利用者一人一人の生活習慣に対応することは、個人の尊重や個人のペースを崩さないことになる。施設で気持ちよく生活ができるので継続してほしい。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者の方が盛りつけやあと片付け・食器洗いを利用者の方と職員と一緒にしている。刻む必要のある方は配膳後に刻んだりキッチンばさみで切り対応している。職員も一緒に食事をしている。		利用者と職員と一緒に食事をしながら会話することで、家庭的な雰囲気があり利用者の表情もなごやかである。昨年の課題であった手作りおやつ計画と実施の日数の隔たりも改善されている。
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴の時間帯・曜日を決めているが本人のタイミングや希望により臨機応変に対応している。夏場等は汗をかいている方は入浴日以外シャワーを使用している。		入浴は気持ちよく生活するためにも必要な支援です。利用者に合わせて対応をこれからも継続してください。
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	花壇で花を育てたり、食器洗い、洗濯干し、たたみ、亀の世話等に利用者に参加している。日課で竹踏み社交ダンス等も行っている。		利用者に役割をもって生活していただくことは、生きがいにもつながります。生き生きと生活するためにも継続してください。
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	10:00のお茶の時間に日課を決めている。猛暑、雨、極寒以外は散歩を希望される為、時間調節により毎日出掛けている。散歩時、地域の方ともあいさつをして、顔なじみになっている。		毎日の散歩で季節を感じたり、地域の方との交流もあり刺激になっている。また散歩をすることにより筋力の低下予防にもつながっていることで、体調管理に気をつけて今後もお願いしたい。
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	9:00～17:00の間は鍵をかけず開放し、ベランダへの出入りも自由になっている。新入居者が外出傾向にある場合は、家族の意向を確認した上で、一時的に施錠するときもある。		ベランダ周囲の環境整備を常に行い、利用者の行動に気をつけてください。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	災害に備え避難方法や避難経路、連絡網はマニュアルを使っており日頃から意識し対応している。地域の協力が得られる取り組みはない。		管理者は夜間の体制に不安感があるとのことである、運営者・管理者・職員、全員でそのことについて考えてみられたい。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養士の献立による食事提供をしている。一日の水分量が確保出来るように支援している。食事の形態は利用者に合わせて対応している。		高齢者にとって水分摂取は重要なことです。摂取状況を常に確認してください。食事の形態は、利用者の希望と食事摂取状態を確認しながらこちらからも行ってください。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	廊下は中庭よりの採光を取り入れる事が出来明るく、日当たりも良い。トイレ内は広く使用しやすくなっている。		食堂兼居間はゆったりとしてくつろげる空間になっている。掃除も行き届き、気持ちよく生活ができるよう努力されている。今後も継続してください。
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人、家族さんの意向を聞いて家具や思い出の品を置いてもらっている。室内も空間も余裕があり制限はしていない。		入居する前の生活で使用していたものを居室に置くことにより、環境の変化に対応しやすい工夫をされています。家族と話し合い、利用者にとって居心地のよい居室づくりをめざしてください。

は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。